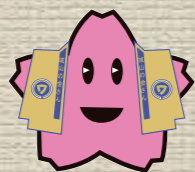


わくやちょう
涌谷町
 WAKUYA-TOWN



涌谷町は宮城県の北東部に位置し、人口は15,859人(2020年2月末現在)面積は82.16平方kmで、登米市・石巻市・大崎市・美里町に隣接しています。

町内にはJR石巻線の「涌谷駅」と「上涌谷駅」、JR気仙沼線の「のの岳駅」の3駅があり、「涌谷駅」から「仙台駅」までの所要時間は1時間程度となっています。

気候は、西の奥羽山脈により大陸からの影響が遮られ、太平洋の沖合で寒流・暖流が合流しているため、年間平均気温11.6℃(平成24～26年の平均)と、東北地方の中でも温和な地域となっています。



涌谷町では、天平21年(749年)に日本で初めて金が発見され、当時陸奥国守であった百濟王敬福が都に金900両(約13kg)を献上しました。その金は奈良東大寺の大仏の鍍金に利用され、聖武天皇が進めていた大仏造立という国家の一大事業に大きな役割を果たしました。産金地となった黄金山の神社は、当時は一地方の神社でしたが黄金山の産金を機に国家の神社へと昇格しました。昭和32年の発掘調査により、日本初の産金地は涌谷だったことが再確認され、黄金山神社を中心とする一帯は、昭和42年12月に「黄金山産金遺跡」として国の史跡に指定され今日にいたっています。

これら、日本初の産金の歴史は、黄金の国ジパングの根源であるため、ストーリー「みちのく GOLD 浪漫—黄金の国ジパング、産金はじまりの地をたどる—」は文化庁が認定する令和元年度の日本遺産の1つに認定されました。この「みちのく GOLD 浪漫」とは、涌谷町をはじめ、岩手県平泉町、岩手県陸前高田市、宮城県気仙沼市、宮城県南三陸町の5つの地域からなり、みちのくとも呼ばれる地にまつわる金の歴史や文化、人々の縁をまとめた浪漫溢れるストーリーです。

天平ろまん館
 日本で初めて黄金が産出した黄金山の入り口に建つのが「天平ろまん館」です。館内には「天平産金」をテーマにした歴史館のほか、手軽に砂金採りが体験できる場所もあります。



わくや天平の湯
 洋風と和風の雰囲気異なる2種類の大浴場が設けられ、それぞれの浴場では2種類の源泉が楽しめます。館内には温泉の他にレストランや小劇場、交流室などがあります。



涌谷町は、移住後の生活をサポートする祝金や補助金が充実しています。

子育て支援

少子化対策の推進及び子育て家庭等における経済的負担の軽減を図ることを目的とし、第3子以降の子を監護する保護者に対し、小学校入学祝い金を**3万円**支給します。

子育て支援

子育て家庭への経済的支援策として、18歳までの子ども医療費が所得制限なく**全額助成**されます。

移住支援

定住を考えている皆さまを対象に、定住の促進と地域の活性化を図るため、町内への移住を目的とした世帯が新たに住宅を建築または購入することに対して、**最大50万円**の補助金を交付します。

出産支援

特定不妊治療を受けた方を対象に、治療費の一部として、県の助成額を差し引いた金額のうち、一回あたり**10万円を上限**に助成します。

出産支援

妊婦健診14回分の費用の一部を助成します。また、県外で里帰り出産をする妊婦に対して県外での妊婦健診の費用の一部を助成します。

移住者の声

私は横浜市で生まれ育ち、父も母も横浜で生まれ育ったため『田舎』がなく、お米の作り方も野菜の育て方も知らないままに当たり前のように食事をしていましたが、涌谷では子供のうちから広い田畑で米作りや野菜を作っているところを見ることができ、その大変さや苦労を知ることができたからこそ感謝して食事することができるように育つのだと思います。

涌谷に来るまでは私立幼稚園で働いていましたが、横浜市では入園するまでの手続きが大変で、しかも高額。涌谷では、入園する際は、子供を面接などでいくつもの園を連れ回さなくてもすむので、親も穏やかな気持ちで入園をむかえる事ができ、親子で安心して入園準備ができます。涌谷は、子供達にとっても私達大人にとっても住みやすく、心が豊かになる町だと感じています。



齋藤 祐子さん
 H20年 神奈川県から移住
 ・移住を考えてる方へ一言

これから子育てをするならば涌谷はおすすです。町立の幼稚園・保育所が充実したカリキュラムで子供達を迎えて、多くの自然を身近に感じながらのびのびとしています。田畑が広がり田舎の風景を目の前にしながらも、田舎を感じない生活ができる快適な町です。

インターネットの普及やインフラが整備された現代、必ずしも都市部で生活する理由がなくなり、高層ビルや建物に囲まれた生活よりも、自然に囲まれた生活に憧れを抱くようになりました。だけど、買い物に不便だったり、住環境があまり整備されていない街には住みたくないし、たまには育った街にも気軽に遊びに行きたい。そんな思いが満たされる地域を探して出会った町が涌谷町。町内には大型ショッピングセンターやホームセンターもあり、コンビニも沢山。下水道も整備され、田舎暮らしの感覚は全くないけども、家から少し出ると、広い空の下、田園風景がどこまでも続く。石巻市や大崎市などは30分、仙台にも1時間もあれば到着する涌谷町はそんな私にぴったりの町。土地も安いので、念願の一軒家も仙台の半分の予算で建てられました。お米や野菜も新鮮で美味しく、ストレスから解放された日々を送っています。



湯浅 輝樹さん
 H27年 仙台市から移住
 ・移住を考えてる方へ一言

JRも通っており、町民バスもありますが、本数が多くないのでやはり車があった方が便利ですね。田舎暮らしに憧れる人は多いけど、実際の田舎暮らしに馴染めない人も多いと聞きますが、「田舎過ぎない田舎暮らし」を求め方にはお薦めの町です。

一人ひとりが元気に輝くまち

涌谷町の
タウンマップ



わくやではじめる

わくわくライフ

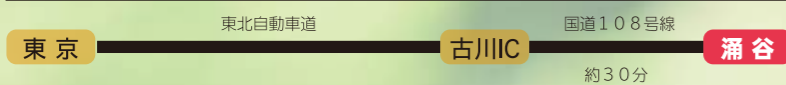
涌谷町への
アクセス



JRご利用の場合



車をご利用の場合



飛行機をご利用の場合



移住・定住に関するお問い合わせ先

涌谷町役場 まちづくり推進課 まちづくり推進班
〒987-0192 宮城県遠田郡涌谷町字新町裏 153-2
TEL 0229-43-2119 FAX 0229-42-3313
メール gr-machisui@town.wakuya.miyagi.jp
涌谷町 HP <http://www.town.wakuya.miyagi.jp>

みやぎけん わくやちょう
宮城県 涌谷町

2020年3月改訂版